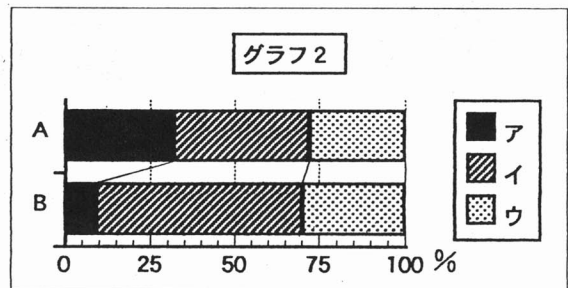
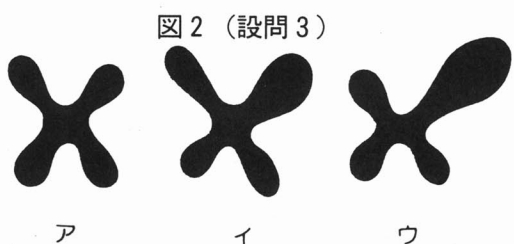


は67%と大分開きがある。これは、例えば静物画を描く場合のモチーフの位置関係をどのように認識するかということと関係がある。バック(地)と、モチーフ(図)の関係で捉える可能性が高いのは、ウを選んだものであろう。Aで最も多いのはイ(144名中77名)であり、形そのものへの興味が強いことを示している。

設問3 形態におけるシンメトリー傾向

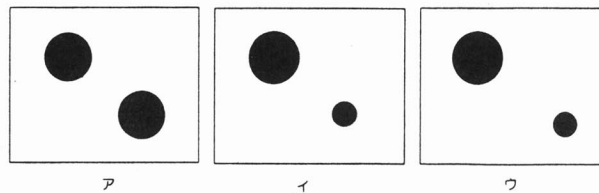
次のア、イ、ウのうち、好きなものを1つ選んでください。



設問3の結果がグラフ2である。この設問は形自体のシンメトリー傾向の好みを見た。アはシンメトリー傾向が強く安定した状態であり、イ、ウの順にしだいにその傾向が弱くなる。逆にウは変化の要素が強くなっている。イを選択したものは、程良い安定と緊張とを望んでいるようだ。Aグループでは、Bグループと比較してアの「安定」を好む者が多い。

同様に、図3は画面におけるシンメトリー傾向をみた設問4である。選択肢ア~ウの傾向も設問3と同じである。ここでのグラフは割愛するが、設問3の、グラフ2にはほぼ重なるほどよく似た傾向を示した。また、個人のレベルでも同じ符号を選んでいる者が多い。

図3 (設問4)



設問8 画面の中心と分割の傾向

解答用紙の枠の中に縦(垂直)の線1本と、横(水平)の線1本を自分が最もよいと思うところにそれぞれ引いてください。2本の線は枠の中のどこかで直角に交わります。線は定規をあてて、枠のはしまで届くように引いてください。

この問いは、画面の中に縦横の直線が引かれることによってできる交点、すなわち画面の中心をどこに置くかを見ようとしたものである。枠の大きさは $\sqrt{2}$ 矩形である。図4と図5はそれぞれのグループの、縦横の線の交点の位置を示したものである。

図4 (A、141名)

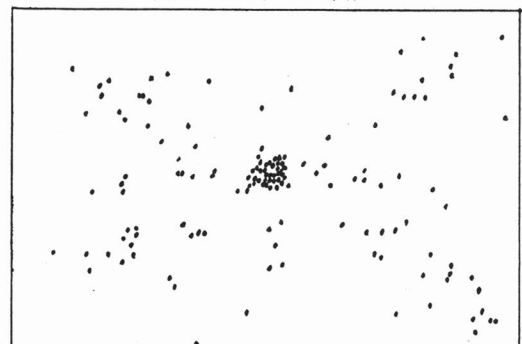


図5 (B、86名)

